

大丸有地区エリア防災計画に関する基礎的調査（平成25年度）

平成25年度調査

当地区の「都市再生安全確保計画」（エリア防災計画）の策定に必要な実行計画等にかかる検討を実施。有識者と関係者からなる検討委員会を計5回開催し議論。

（1）基礎データの収集・整理

○在街者数の再整理、災害時死傷者数の想定、地区内関係者による取組実態の調査等を実施

（2）エリア防災計画の構成検討

- 公民連携による当地区エリアマネジメント及び都市基盤整備と連続性を持たせる。
- 計画は、当面固定の基本的な方針と適宜改定（3年毎）する実行計画の2層とする。
- 目指す姿と計画の進捗を表すエリア防災計画図を作成・添付する。

1 基本的な方針

都市再生安全確保計画の基本理念

都市再生安全確保計画の目標

当面
固定

2 目標を実現するための実行計画

実行計画

- 概ね3年程度で実行すべき重点課題をフォーカス
- ①現状と課題
- ②将来の目標像
- ③実行計画
- ④今後の検討課題

実施する事業等（事業計画表）

- 実施を決定した事業等について、実施主体、事業内容、実施機関等を記す。

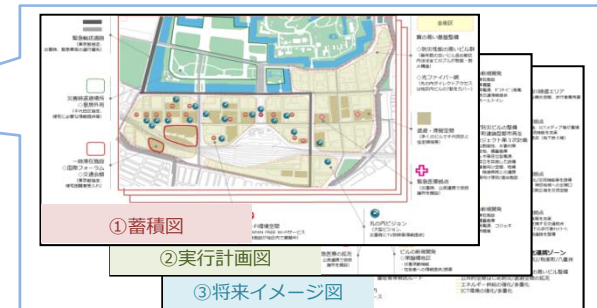
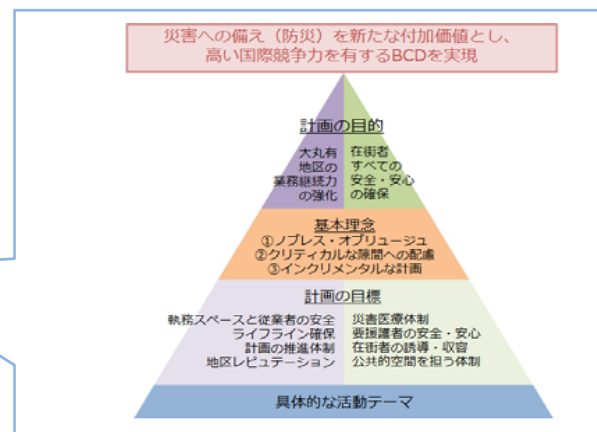
（仮称）エリア防災計画図

- 作成・改訂時点での将来像（最良案）。
- 実行計画により実現された対策を反映し管理。

事業計画図

- 計画に関わる主要施設の配置、新規事業の場所等の計画図。

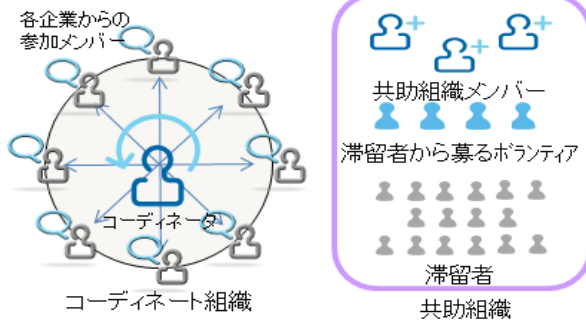
適宜
改定



実行計画の概要

①計画の担い手

- 2つの組織の目標像を明確化
- 具現化に向け、次年度、地区関係者からなるプラットフォームを設置



②退避施設の確保

- 当地区に広く存在する公共的空間（地上・地下）を活用する考えを提示
- 退避施設の実態として、区と協定締結済み施設と整備予定施設を整理

③医療体制の強化

- 死傷者を出さないまちづくりを推進する考えを提示
- 実行計画として、医師会や医療機関、薬局との協定や訓練等を取組み中

④エネルギー供給の強化

- 電力・水・情報通信インフラの一体強化と防災/環境性能の両立を目指す
- 自立分散型エネルギーの導入、地域冷暖房等ネットワークの構築を推進する考え方を提示

⑤エリアにおける情報提供

- 企業がBCMに活用する情報提供体制を構築を目指す（担い手と連動）
- 在街者向け情報提供手段の多重化、提供範囲の拡大を進める（大型ビジョン、Wi-Fi開放等）